



朝鮮民主主義人民共和国： 拷問、 死刑および拉致

拷問およびその他の虐待

朝鮮民主主義人民共和国では、およそ20万人が拘禁施設や刑務所に収容されている。多くは拷問その他の残虐、非人道的ないしは品位を傷つける取り扱いまたは刑罰を受けている。

状況は施設間での違いはあるが、政治囚収容所(管理所)では、非政治囚用の収容所(教化所または労働鍛錬隊)に比べて一様に厳しさが増す。

どの収容所でも、収容者たちは強制的な重労働に処せられている。典型的な労働の形態は、休日なしに1日10時間労働で、山地での木材伐採や、石の採石作業などに従事するものである。

囚人たちは、もし嘘をついていると疑われた場合、作業の進捗が遅い、あるいは愛国歌の歌詞を忘れたと疑われた場合には虐待を受けている。その虐待の形態は、殴打・強制運動・長時間にわたる不動の正座、屈辱的な公開批判などを含む。強制的な重労働と不十分な食糧、殴打、医療の不足と非衛生的な生活条件などが合わさった結果、収容者たちは病に倒れる。拘禁中に死亡する人びとや釈放直後に亡くなる人びとがいる。

死刑

朝鮮民主主義人民共和国では、死刑の執行は通常、銃殺隊か絞首刑によって行われる。しばしば国内法によれば死刑相当犯罪ではない犯罪に対して死刑が適用されることがある。死刑執行は秘密裏に行われるが、他の人びとに対する見せしめの目的で公開処刑が行われているという情報もある。

2008年2月、同国は、15人を公開処刑した。男性13人、女性2人であった。中国に逃れようとしたという罪で、他の人びとに対する抑止を狙ったものだと思われる。2007年2月には、中国への無許可の訪問を助けたという理由で二人の兵士に死刑が宣告された。処刑されたかどうかは未確認である。

拉致および強制失踪

朝鮮民主主義人民共和国は朝鮮戦争期(1950年～1953年)以降、拉致および強制的失踪を政策として引き起こしている。何万人もの同国の人びとおよび大韓民国・日本・タイ・レバノンを含む他国の国民が朝鮮民主主義人民共和国政府により拉致された。また、反体制と疑われた朝鮮民主主義人民共和国の人びととその家族が姿を消し、あるいは「連座制」の原則の下に処罰を受けた。

ほとんどの場合、同国当局は、これらの個人が拘禁されていると認めることを拒絶し、彼らの消息や行方に関する情報提供を拒絶している。

■ 2001年、中国の警察はソン・ジョンナムさんを逮捕し、朝鮮民主主義人民共和国に送還した。彼は2004年2月まで同国の国家安全部に身柄拘束されていた。2006年1月、彼は平壤において反逆罪で再び逮捕された。彼への嫌疑は、彼が中国に2004年5月から6月まで訪れ、弟で韓国国籍を持っていたソン・ジュングンさん

と会っていたことによる。ソン・ジュンナムさんは死刑を宣告され、秘密収容施設に連行された。その後彼の姿を見た人はいない。

■ 同国の職員は、1977年11月15日、日本の新潟で当時13歳だった横田めぐみさんを拉致した。彼女は同国に船で連れて行かれた。この情報は、1997年、ある朝鮮民主主義人民共和国の職員が証言し、横田めぐみさんの拉致を認めたことで知られることになった。同国政府は、彼女が1994年に自殺したと主張したが、同国から提供された遺骨のDNA鑑定の結果、遺骨は別人のもつと判明した。

勧告

アムネスティは、朝鮮民主主義人民共和国政府に対し、以下の事を求める。

拷問およびその他の虐待

- 刑務所における囚人に対する拷問ならびにその他の虐待および強制労働を直ちに止め、囚人の処遇への国際基準を確実に適用すること
- 収容所および留置所の状況を改善して最低限の国際基準を満たすようにすること。

死刑

- 公開処刑および裁判無しの処刑を直ちに止めること。
- 死刑廃止への第一歩として、死刑の正式な執行停止を導入すること。

拉致および強制失踪

- すべての拉致および強制失踪を公に非難し、直ちに止めさせること。
- 拉致および強制失踪に関する過去および現在の申し立てを徹底的、且つ独立して公平に調査すること。
- 拉致あるいは強制失踪の被害者全員の消息および行方に関する政府としての正確で決定的な情報を作成すること。
- 拉致ないし強制的失踪の被害にあった人びとは、国際法に合致した明らかな犯罪事実で起訴されない限り、自らが望めば、同国を離れることができるよう保証すること。

**AMNESTY
INTERNATIONAL**



Amnesty International is a global movement of 2.2 million people in more than 150 countries and territories who campaign to end grave abuses of human rights.

Our vision is for every person to enjoy all the rights enshrined in the Universal Declaration of Human Rights and other international human rights standards.

We are independent of any government, political ideology, economic interest or religion – funded mainly by our membership and public donations.

August 2009
Index: ASA 24/003/2009

Amnesty International
International Secretariat
Peter Benenson House
1 Easton Street
London WC1X 0DW
United Kingdom
www.amnesty.org